校長室から SEASON2 NO.34 R8.11.2

第１回入試説明会 11月21日今年度第1回目の入試説明会を行いました。非常に寒い中120組を超える中学生保護者の皆様に来ていただきました。私からの挨拶で「あと2か月半、取り組む内容の紹介をします。中学校の学びは非常に大切なのでここでしっかりとやり方など聞いて頑張ってください。」という話をさせていただきました。その後、本校卒業生から中学生への激励とともに高校での取組を話してもらい、高校生活のイメージを膨らませてもらいました。入試広報から全体的な話の他、入試科目となる教科の説明を行い、さらには対策授業に70組を超える中学生が参加してくれました。お忙しい中ありがとうございました。第2回目は12月5日に行います。





柔道部県新人大会 11月20日から高砂市総合体育館で県高校新人柔道大会が行われました。20日の女子団体戦では強豪校を破っての決勝進出を果たしましたが、決勝の社高校戦では、そこまでの厳しい戦いの連続で力をうまく発揮できず敗れ、昨年に引き続きの準優勝となりました。翌日行われた個人戦では52kg級に2年池本選手、1年中村選手が見事決勝進出を果たし同一校での決勝戦となりました。GS(延長戦)に持ち込まれる接戦となりましたが、最後は中村選手の技が決まり1年生ながら見事優勝を果たしました。池本選手も初めての決勝進出とよく頑張りました。2人とも12月の全国選抜代表決定戦に向け頑張ってください。男子は、団体戦でベスト8まで順当に勝ち上がり迎えた準々決勝では、2年山澤選手の一本勝ちが効いて内容勝ちで準決勝に進出。神戸国際大附属高校と決勝進出を懸けて戦いました。ここでは先鋒がポイントを取られ追いかける苦しい展開に。しかしながらここでも2年山澤選手が豪快な技を決め、押さえ込んでの一本勝ちを収めポイントをタイに戻し代表決定戦へ。代表決定戦では一瞬の隙をつかれ倒されたところを押さえ込まれ、残念ながら敗退が決まりました。選手達は涙を流して悔しがっていましたが、団体は県総体に向けて仕上げてほしいと思います。個人では、60kg級2年前田選手、90kg級2年三隅選手、100kg級2年山澤選手が見事優勝。90kg級決勝は1年金選手も決勝に残り、団体での悔しさを少し晴らせたでしょうか。女子同様12月の全国選抜代表決定戦に向けしっかり調整して、個人での出場を目指して頑張ってください。女子1年中村選手の取材記事が11月22日神戸新聞朝刊運動面に掲載されました。











中村（神港学園）、先輩破りV

女子個人52キロ級

神港学園同士の対決となった女子個人52キロ級決勝は、1年の中村＝写真＝が制覇。延長の末に先輩の池本を下し、健闘をたたえ合った。

前日の団体はともに決勝進出に貢献したが、2年連続の準優勝。「団体の分まで全部出し切る」と気持ちを切り替えた。

池本とは稽古で日々乱取りをする間柄だが、決勝はともに慎重になって指導を重ねた。延長に入り「楽しくなった」と笑みがこぼれた中村。早々に得意の内股から背負い投げへと連続で果敢に仕掛け、一本勝ちした。

徳島・生光学園中で寮生活を送り、心身を鍛えて地元神戸に戻ってきた。来月の県予選を経て「全国高校選手権で上位に入ると高みを目指す。（井川朋宏）

ハンドボール県新人大会 11月21日からSHOWAグループ総合体育館で開催されたハンドボール県高校新人大会に出場した本校ハンドボール部は初戦を勝ち上がり、2回戦で強豪市立西宮高校と対戦。試合開始早々流れを掴み、一時は4点差でリードをしていたのですが、相手キーパーが変わり本校の作戦を読まれ出すとゴールになかなか近づけなくなりました。その間、相手ゴールキーパーの好セーブもあって相手に流れが行き出すと苦しい展開になりました。それでも前半を7－8の1点差で追えたのですが、後半開始早々から連続して得点を決められ、シード校の強さを見せつけられ点差を広げられる状況に。最後は9－16で敗戦。少ない人数ながら持ち味を出して健闘していたのですが、後半勝負の厳しさを見せつけられた感じでした。この悔しさを来年度の県総体で晴らすべく、練習に励んでください。お疲れ様でした。







期末考査 1 週間前 2学期の期末考査1週間前となりました。中間考査でうまくできなかった人、1学期からの成績が思わしくない人は、進級、卒業に向けて大変重要な考査となりますので、しっかりと対策を立てて臨んでください。気持ちよく冬季休業が迎えられるようにご家族ともしっかり話をして学期末を過ごしてください。